

入場  
無料

# 岡山市の 人工芝問題を考える

in 県立図書館

2026年

4月18日 土 13:30~16:00

岡山市は昨年夏、市内の全町内会長等にアンケート送付し、人工芝のメリットデメリットの説明もないままに各町内にある公園への人工芝敷設の意向調査を行いました。その結果105公園から敷設希望が寄せられました。これを受け、2026年度に、1公園でモデル試行を行う事を決定しています。

しかし、人工芝は劣化するとマイクロプラスチックとなり海洋汚染につながります。また、有害物質を含み健康被害が指摘され、禁止する国も出てきています。人工芝による環境汚染、健康被害、怪我への影響について学び、人工芝問題について一緒に考えてみませんか。

## 講師紹介

### 栗岡理子氏

1980年代に市民団体に参加したことがきっかけで、環境問題に関心をもつ。以降、廃棄物問題を中心に活動。子育て一段落後、大学院に進学。2018年修了（博士：経済学）。専門は環境経済学。現在、環境ジャーナリストとして、日本消費者連盟や環境・CSR誌「オルタナ」（編集委員）などで活動。主な著書『プラスチックごみ問題入門 - 安心して暮らせる未来のために』（2021年、緑風出版）、『人工芝問題入門 - どうするマイクロプラスチック公害』（2025年、緑風出版）、他



会場 岡山県立図書館 2F デジタル情報シアター  
岡山市北区丸の内2-6-30

呼びかけ人 岡山市議会議員 鬼木のぞみ、田中のぞみ  
連絡先 086・244・7721（鬼木のぞみ事務所）  
086・803・1707（田中のぞみ会派控え室）



4/12  
締切り

参加申込みはコチラから